

1 組織

- (1) 都立東村山高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、副校長1名、学年主任2名 計4名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(学年担当)、生活指導主任、進路指導主任 計7名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者(大学教授等)2名、近隣小学校長、近隣教育委員会次長、警察署関係者、同窓会副会長、PTA会長 計7名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和6年6月21日（金）内部委員7名、協議委員7名  
協議委員委嘱、委員紹介、学校経営報告・学校経営計画について、各分掌からの報告、意見交換、その他
  - 第2回 令和6年11月8日（金）内部委員7名、協議委員6名  
授業公開、今年度前半の教育活動の状況について、今年度の学校評価アンケート等実施計画について、各分掌からの報告、意見交換、その他
  - 第3回 令和7年2月14日（金）内部委員7名、協議委員7名  
授業公開、今教育活動の状況について、学校評価アンケートの報告について、各分掌からの報告、意見交換、その他
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和6年11月8日（金）内部委員3名、協議委員1名  
学校評価アンケートについて、意見交換、その他
  - 第2回 令和7年2月14日（金）内部委員3名、協議委員1名  
学校評価アンケートについて、意見交換、その他

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校生活」「学習指導」「生活指導」「進路指導」「特別活動・部活動」「健康指導・安全指導・教育相談」「体罰の防止」「エンカレッジスクール」の8観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・1月 全校生徒 対象：536人 回収：264人 回収率：49.2%
  - ・1月 保護者全員 対象：536人 回収：33人 回収率：6.1%
  - ・1月 地域・住民 対象：10人 回収：10人 回収率：100%
  - ・1月 教職員 対象：43人 回収：43人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目  
「学校生活」「学習指導」「生活指導」「進路指導」「特別活動・部活動」「健康指導・安全指導・教育相談」「体罰の防止」「エンカレッジスクール」の8観点について生徒は29項目、教員31項目、保護者30項目、地域20項目で調査を行った。
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

①学校に対する満足度

生徒は、「東村山高校に入学してよかった」が1年生84%、2年生82%、3年生85%、生徒全体83%であった。昨年度は生徒全体が83%であったことから、本校に入学してよかった生徒は横ばいとなった。また、「学校生活は楽しく、充実していると感じる」については1年生88%、2年生90%、3年生87%、生徒全体89%で、昨年度の生徒全体85%から増加していることから、東村山高校に満足して通学している傾向は増加傾向にあると考えられる。

保護者についても、「東村山高校に入学してよかった」が97%で、昨年度の95%と比較し上昇している。また、保護者に関しては、毎年高い評価となっているため、本校の教育活動への期待度が増していると考えられる。「学校生活は楽しく、充実していると感じる」は1年生88%、2年生90%、3年生87%、生徒全体88%、保護者88%であり、昨年度の生徒全体91%、保護者91%より減少している。さらに、「授業・学校行事・部活動などで、たくさんの思い出ができていく」に関しては、1年生93%、2年生89%、3年生89%、生徒全体90%、保護者91%となっている。昨年度の生徒全体85%、保護者100%

から、生徒は上昇しているが保護者が減少している。

教職員は「東村山高校に入学してよかった」86%、「学校生活は楽しく、充実していると感じる」91%と回答しており、生徒と保護者の期待に応えられるよう教育活動に臨んでいる。「授業・学校行事・部活動などで、たくさんの思い出ができています」に関しては81%であり、概ね、満足できる体験を提供できたと考えている。

#### ②学習指導に対する満足度

生徒は、「授業はわかりやすく、先生方は教え方や教材を工夫していると思う」では、1年生83%、2年生88%、3年生93%、生徒全体87%と教員はわかりやすく丁寧な指導を行なっている様子が見て取れる。

また、保護者からも肯定的な回答が85%であることから、わかりやすく丁寧な指導が家庭内でも伝わっていることが考えられる。

「進路を実現するための科目が充実している」1年生79%、2年生84%、3年生91%、生徒全体84%、保護者88%、「成績の出し方は、ていねいに説明されている」1年生87%、2年生86%、3年生85%、生徒全体86%、保護者82%と、成績の出し方について保護者への周知を充実させる必要を感じる。「授業やテスト勉強など、積極的に取り組んでいる」1年生79%、2年生77%、3年生73%、生徒全体77%、保護者73%と勉強に取り組む環境や方法、内容などを更に検討し改善する必要がある。現在、本校では、朝学習・朝読書、校内寺子屋（放課後学習）など基礎学力定着のための事業を実施しており、また次年度への改善について検討を重ねている。

#### ③生活指導に対する満足度

「身だしなみを整えたり挨拶をしたり、時と場合に応じた身なりと行動ができる」については、1年生94%、2年生88%、3年生93%、生徒全体91%、保護者94%が肯定的な回答をしている。しかし、教員は「学校の生活指導の在り方について理解して学校生活を送っている」について42%であり、生徒・保護者に比べて、教員の数値が低い結果となった。制服の着こなしについて、ワイシャツやスカート等や化粧について、指導をしても校則違反が繰り返されることが原因である。「家庭や学校で、相手の立場をふまえた適切なコミュニケーションができています」1年生97%、2年生90%、3年生93%、生徒全体93%、保護者91%の結果となっているが、コミュニケーションスキル不足による生徒間でのトラブルなどがあるため、その都度、教員が指導を行っている。「先生方は、生徒の悩みや相談に親身にに応じてくれる」については、1年生88%、2年生88%、3年生95%、生徒全体89%、保護者79%となっているが、教員は100%と高く、回答に乖離がみられる。教員は内容によって、スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカーとの連携を図っている。「自転車マナーなどの登下校の安全指導が行われている」については、1年生87%、2年生86%、3年生93%、生徒全体88%、保護者94%、教員65%であるが、ヘルメット着用について、継続した指導を行なう必要がある。「服装や髪型指導はしっかり行われている」については、1年生93%、2年生88%、3年生93%、生徒全体91%、保護者97%、教員88%であり、教員の常日頃の指導が反映しているものと思われる。

#### ④進路指導に対する満足度

「進路について、自分なりに考え対策している」、「進路講話や学年の進路指導などは、自分の進路を考える上で役立っている」については、総合的な探究の時間でのキャリア教育を進めている成果もあり、生徒、保護者、教員とも90%前後の数値である。進路指導部と学年団が連携して1年生から将来の進路実現のため、キャリア教育を積重ねている結果といえる。「担任や進路指導部の先生は、自分の進路に関する相談に乗ってくれる」について、1年生86%、2年生89%、3年生98%、生徒全体90%、保護者76%、教員100%となっている。進路実現のため教員が面接指導等を根気よく実施していることが評価につながっていると思われる。「進学応援型」を掲げる本校は都内の他のエンカレッジスクールの中で進学率は高い方であるが、指定校の開拓や、生徒の多様な進路希望を実現するためのさらなる対応力が進路指導に求められる。

#### ⑤特別活動・部活動に対する満足度

「ホームルームは、居心地がよいと感じる」に対する満足度は、1年生73%、2年生84%、3年生89%、生徒全体81%、保護者85%である。昨年度の生徒の満足度82%からほぼ横ばいである。概ね、生徒にとっては学習やホームルーム活動をする上で良好な居場所を提供できていると考えられ、保護者はそういった子どもの様子を感じているようである。「学校行事は楽しく充実している」について、1年生90%、2年生88%、3年生87%、生徒全体89%、保護者82%、教員91%であった。今年度は、体育祭、文化祭、修学旅行などが、ほぼコロナ禍前と同様の開催状況となっているが、昨年度の保護者94%から減少している。

「部活動に積極的に取り組み、充実した活動ができています」に対する満足度は、1年生82%、2年生74%、3年生73%、生徒全体77%、保護者79%、教職員70%で昨年度と同様高水準を維持している。

「Sport-Science Promotion Club」の指定を受けたバドミントン部とビームライフル部が活躍し、各大会において上位入賞に入るとともに、フランスへの海外派遣を果たしている。

⑥いじめなどに対応した教育相談・健康指導・安全指導に対する満足度

「悩みや、いじめなどを相談するカウンセリング等の教育相談が充実している」、「先生方は、生徒や保護者の意見を聞くことに努めている」についての満足度は、1年生86%、2年生86%、3年生89%、生徒全体88%、保護者76%を得、昨年度の生徒83%から上昇している。教員はスクールカウンセラーやユースソーシャルワーカーと情報共有を図り、生徒に対して「いじめアンケート」を年間3回実施し、いじめの兆候を早期に捉えようとしていることが信頼関係の構築に寄与していると考えられる。

また、「体罰や暴言を受けたり、見たりすることはない」についても、1年生85%、2年生91%、3年生95%、生徒全体90%、保護者88%と高く、学校全体で生徒を大切に扱っていることへの評価だと考える。

⑦エンカレッジスクールについて（1年生のみ）

質問項目	生徒 (%)	保護者 (%)	教員 (%)
ICTを活用し、授業や学習の指導が行われている	90	88	86
30分授業は、集中して勉強できる	94	100	93
2人担任制で、きめ細やかな指導が行われている	87	94	100
「学び直し」で、基礎力が身に付いていると思う	76	75	63
体験学習は、充実している	96	100	84
体験学習で、新しい友達や市民講師の先生と交流ができた	95	94	93

5項目のエンカレッジスクールにおける取組は生徒・保護者からの満足度が高く、今後も充実させていく必要がある。「学び直し」については、教職員の数値よりも生徒の数値が低く、成果がでないように感じている生徒が少なからず存在することが伺える。内容や実施方法などを検討し、改善すべきと思われる点を意識して進める必要がある。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

今回は、東村山市立大岱小学校・久米川小学校・久米川東小学校・東村山第三中学校・東村山第五中学校・東村山第七中学校・東村山市役所（教育委員会・防災防犯課・産業振興課）・富士見児童館・中央公民館に御協力をいただいた。

アンケート結果を見ると、すべての項目で高い評価をいただいている。地域の方との連携や学校行事等、教員の努力のたまものだと考える。また、エンカレッジスクールについて、広報活動が徐々に地域への浸透し、認知されていることが言える。

自由記述を見ると、生徒たちによる挨拶、部活動が盛んな様子などをみて好印象をもっていただいている。

また、本校がエンカレッジスクールとして特徴ある教育活動を行っていることへの理解が進んでいることから、引き続き情報発信と地域の交流を進めていくことが求められる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・保護者の学習指導についてのアンケート結果から、厳しい評価をいただいている。学校としては、全教員の研究授業及び若手教員の研究授業及び研究協議を行うなど、授業改善に向けて取り組んでいるところであるが、更に一歩踏み込んで、授業をしっかりと受けさせる態度を育成していくことが今後の課題である。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・Formsにてアンケートを実施したが、周知の徹底を行ったため、生徒のみならず保護者からの回答率が下がってしまった。アンケートへの協力呼びかけの方法、Formsの最適な利用方法を検討が必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・「進学応援型エンカレッジスクール」として、「学び直し」の充実を図る。きめ細やかな指導を実践し、生徒の進級、卒業を目指し、中途退学者・転学者の減少に努める。
- ・少人数授業、習熟度別授業や朝学習・朝読書、寺子屋事業をとおして学力向上、特別な支援を必要とする生徒に対する教育相談の充実を図る。
- ・「スキルアップ推進校」「Sports-Science Promotion Club」としての取組をとおして、学校の活性化を

促進する。

(2) 学習指導

- ・エンカレッジスクールとしての「学び直し」を実現し、進学等の進路実現につなげる。
- ・生徒の、授業やテストへの取組状況の数値は決して高いとは言えない。授業に対するしっかりとした取組、家庭学習習慣の確立等、保護者と連携し、学ぶ時間を増やすことが重要である。まずは、落ち着いた学習環境の定着を図り、生徒一人ひとりの状況に合わせた習熟度別授業や少人数授業、体験学習等の充実を促進する。

(3) 特別活動

- ・文化祭や体育祭などの学校行事の実施がコロナ禍前の従来の姿に戻り、生徒達が積極的に取組んでいる。今後は、保護者や地域の方々への一層の参加を呼びかけ、生徒の成長につなげられるような開催を検討する。
- ・部活動は令和4年度より東京都から「Sports-Science Promotion Club」の指定をバドミントン部とチームライフル部が受け、チームライフル部は関東大会出場、バドミントン部は、2年連続で海外派遣研修事業において1月にフランスに派遣関東大会出場など輝かしい成果を残した。またダンス部やライトミュージック部が地域主催のイベントに参加し、地域との連携を深めている。
- ・部活動をはじめ学校活動へ積極的に参加し、帰属意識を高め、地域や社会に貢献しようという意識を高めていく。

(4) 生活指導

- ・生活指導部や学級担任を中心とした教員全員での粘り強い生徒指導を続けている。朝の遅刻指導や頭髪指導など規範意識の醸成を図っている。
- ・登下校時の歩行・自転車マナー、近隣飲食店での来店マナーなどについて地域住民から厳しいご意見を少なからず頂戴している。マナーの大切さや精神的成長を促す指導の一層の推進を図る。
- ・生徒の社会性を高めるために、生徒会や部活動の地域との交流・連携を進める。また、地域からの生徒理解促進を図る。

(5) 進路指導

- ・進路指導部と学級担任を中心として1年時から進路ガイダンスなどを実施し、近い将来の自己実現に向けたキャリア教育を実践している。
- ・大学、専門学校、就職と多種多様な生徒の希望に対し、一人ひとりに丁寧できめ細やかな指導を実践している。
- ・1年生、2年生で望ましい職業観・労働観を養い、自身の希望する進路に向かって取り組む姿勢を育む「キャリア教育」の充実を図る。

(6) 健康・安全

- ・学級担任、自立支援担当教員、特別支援教育コーディネーター、養護教諭が中心となり、スクールカウンセラー・ユースソーシャルワーカーと連携し、個別の支援が必要な生徒対応のための教育相談体制の充実を図っている。
- ・今後、より一層の教育相談体制の向上、情報交換を密にした指導体制構築を推進する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	2	1	0	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、職員会議及び企画調整会議への協議委員参加の機会を検討する。